

ウインヴァカンスの24

美 浦
入厩予定

全400口 一口37,500円(総額:1,500万円)

父 オメガパフェーム
牡 鹿毛 2024年5月12日生まれ コスモヴェューファーム



オメガパフェーム
芦毛 2015年

*スウェプトオーバーボード
Swept Overboard(USA)
芦毛 1997年

*エンドスウィープ
End Sweep

*フォーティナイナー
Broom Dance

シーアアイス
Sheer Ice

Cutlass
Hey Dolly A.

オメガフレグランス
鹿毛 2007年

ゴールドアリュール

*サンデーサイレンス
*ニキーヤ

ビューティーメイク

*リアルシャダイ
*セイリングビューティ

ダノンシャンティ
黒鹿毛 2007年

フジキセキ

*サンデーサイレンス
*ミルレーサー

*シャンソネット
Chansonnette

Mark of Esteem
Glorious Song

*フリーヴァケーション
Free Vacation(CAN)
栗毛 1996年

フライソーフリー
Fly So Free

Time for a Change
Free to Fly

マイアミ ヴァケーション
Miami Vacation

Far North
Decision

*サンデーサイレンス 4S×4D, Damascus 5S×5D, Halo 5S×5D×5D

母系

母ウインヴァカンス(18 ダノンシャンティ) 2勝。本馬が初仔
祖母 ***フリーヴァケーション** Free Vacation(96 Fly So Free) 加国産、加芝
牝馬チャンピオン、北米7勝、Breeders' S, Flaming Page H-L(2回)、
Wonder Where S, ナタルマ S-CAN1 2着、スカイクラシック H-G2 2着、
Robert G. Dick Memorial Breeders' Cup S-L 2着、加プリンセス エリ
ザベス S-CAN1 3着、Canadian Oaks 3着、April Run S 3着、ロングアイ
ランド H-G2 4着、グレンズ フォールズ H-G3 4着。産駒
ウインリパティ(牝 ダンスインザダーク) 5勝、ムーンライト H、西海賞、都井
岬特別、チューリップ賞-G3 5着。産駒
ウインリブルマン(牡 エピファネイア) 3勝、常滑特別、唐戸特別、
ウインリベラシオン(牡 *ブリックスアンドモルタル) 1勝、
シャルルヴォア(牝 スペシャルウィーク) 3勝、三田特別。産駒
ナンヨーイザヨイ(騾 エイシンフラッシュ) 3勝、九州スポーツ杯、障1
勝、佐賀公 3勝、
ナンヨーアーミー(牡 キングカメハメハ) 1勝、高知公 2勝
モレーンレイク(牝 フサイチコンコルド) 1勝
ウインリペロ(牡 ステイゴールド) 東海公 3勝、岩手 1勝、中央障 1勝、
石川公 1勝
メメキューティアー(牝 ゴールドアリュール) 入着、兵庫公 1勝。産駒
ピエナパイロ(牝 *パイロ) 2勝
曾祖母 **マイアミ ヴァケーション** Miami Vacation(88 Far North) 北米 3
勝、Foster City Mile S-L。産駒
イグジット トゥリオ Exit to Rio: 英 1勝、北米 6勝、Hasta La Vista
H, Wildcat H 3着
シーサイド リンクス Seaside Links: 北米 15勝、Cup and Saucer S 2着
*アブサラ: 2勝、雲雀ヶ原特別、新潟 1勝
四代母 **ディシジョン** Decision(80 Resound) 北米 4勝、パッカー アップ S
-G3, Lyrique S, Fairmount Juvenile S, Pocahontas S 2着、アシュランド
S-G2 3着、ゴールデン ロッド S-G3 4着。産駒
マイアミ ダンサー Miami Dancer: 北米 2勝、John Peri S 3着

母の父

ダノンシャンティ
日高産、3勝、NHKマイルC-G1
(1600m)、毎日杯-G3(1800m)、
共同通信杯-G3 2着、ラジオ
NIKKEI杯2歳S-JPN3 3着。主
な産駒 スマートオーディン(京都
新聞杯-G2、阪急杯-G3、毎日杯
-G3)、サイタスリーレッド(オーバ
ルスプリント-JPN3)、ガンサ
リュート(京成杯-G3 2着)、クイン
ズサリナ(マーガレットS-L 2着)。
母の父としてエリダヌス(新潟牝馬
S-L 2着)、ポッドテオ(ジュニア
C-L 3着)を出す



CHECK POINT

父は東京大賞典4連覇の偉業を達成しており、その父スウェプトオーバーボードの産駒は短距離、早熟が多い中、ダート中距離で4年間一線級で活躍したことは高く評価できます。しかも普通はダートのG1級となると体重は480kgを超えるものですが、父は現役時450~460kg前後と少し小さなサイズで優秀だったということから、筋肉「量」ではなく「質」が良かったと言えるでしょう。それは当然、遺伝としても伝わるはずですが、本馬は硬めではありませんが、歩きが機敏で速いです。スタートからすぐにギアを上げられそうで、父とは少し違い、自分から2、3番手へポジションを取りに行けると思います。ダート馬ですが、成長が楽しみです。

